

CyberLink

PowerBackup 2

User's Guide



使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文の End User License Agreement (‘EULA’) の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意訳されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧頂きたくお願いいたします。

End User License Agreement (EULA) : 使用許諾契約書

当製品（以下「本ソフトウェア」という）の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書（以下「本契約書」とする）をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）と CyberLink Corp.（以下「サイバーリンク」といいます）との間に締結される法的な契約書となります。

ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物（以下「関連印刷物」といいます）の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などはできないものとします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーリンクに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利はすべてサイバーリンクによって留保されます。

アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の使用権は本ソフトウェアの使用権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

保証及び責任の限定

サイバーリンクは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーリンクは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に取り取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。

本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします。

Copyright and Disclaimer

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise without the prior written permission of CyberLink Corporation.

To the extent allowed by law, PowerBackup IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY WARRANTY FOR INFORMATION, SERVICES, OR PRODUCTS PROVIDED THROUGH OR IN CONNECTION WITH PowerBackup AND ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, EXPECTATION OF PRIVACY, OR NON-INFRINGEMENT.

BY USING THIS SOFTWARE, YOU AGREE THAT CYBERLINK WILL NOT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL LOSS ARISING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE OR MATERIALS CONTAINED EITHER IN THIS PACKAGE.

The terms and conditions here under shall be governed and construed in accordance with the laws of Taiwan.

PowerBackup is a registered trademark along with other company and product names mentioned in this publication, used for identification purposes and remain the exclusive property of their respective owners.

International Headquarters

Mailing Address CyberLink Corporation
15F, #100, Min Chuan Road, Hsin Tian City
Taipei County, Taiwan, R.O.C.

Web Site www.cyberlink.com

Telephone 886-2-8667-1298

Fax 886-2-8667-1300

Copyright © 2007 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

はじめに	1
ようこそ!	2
このバージョンの新機能	4
PowerBackup について	5
機能ボタン	6
手順ボックス	7
バックアップ方法	9
サンプル シナリオ	10
システム条件	16
PowerBackup のアップデート	17
 PowerBackup での作業.....	19
データのバックアップ	20
バックアップ オプション	22
データのリストア	28
PowerBackup を使用したデータのリストア	28
リストア ツールを使用したデータのリストア	30
データの比較	32
スケジューラの使用	34
ファイルの検索	37
ディスクの消去	38
レポートの表示	39
 付録.....	41
CD、DVD、および Blu-ray ディスク	42
CD タイプ	43
DVD タイプ	44
Blu-ray ディスクのタイプ	46

テクニカルサポート 47

 テクニカルサポートにお問い合わせになる前に 48

 Web サポート 49

 電話サポート 49

 電子メールサポート 50

索引 51

チャプター 1

はじめに

この章では、CyberLink PowerBackup およびデータ バックアップ プロセスについて紹介します。このプログラムを使用するための最低限のシステム条件、および最新バージョンのソフトウェアへのアップグレード方法について説明します。その後、各種バックアップ方法に続き、プログラムの紹介、およびプログラムを使用する際に選択する様々なオプションについて説明します。

この章は、次の各項で構成されています。

- ようこそ！ on p. 2
- このバージョンの新機能 on p. 4
- PowerBackup について on p. 5
- バックアップ方法 on p. 9
- システム条件 on p. 16
- PowerBackup のアップデート on p. 17

ようこそ！

CyberLink ソフトウェア プログラム ファミリーへようこそ！
CyberLink PowerBackup は、ネットワーク上などのドライブおよびファイルをハード ディスク フォルダまたはディスクにバックアップできるようにするバックアップ プログラムです。

データのバックアップは、事故、ディスク障害、ハッカーまたはウイルスによる攻撃などが発生した場合に、時間およびお金を大幅に節約できる重要な安全措置です。大切なデータのバックアップ コピーを他のメディア上に保持することで、簡単または確実にデータを元の状態にリストアできます。

PowerBackup の主な機能には次のものがあります。

- バックアップ、リストアおよび比較機能
- 完全（すべて）、増分および差分バックアップ
- バックアップ間隔スケジュールの設定（1 回、毎日、毎週、毎月）
- 複数ボリューム バックアップ
- CD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RW、DVD-R DL/+R DL、DVD-RAM および Blu-ray ディスク タイプのサポート
- すでにファイルが含まれているディスクなど、あらゆるディスク サイズに合わせて自動調整
- ハード ディスク、USB、Jazz、ZIP、MO ドライブのサポート
- データ圧縮
- パスワード保護
- 特定の拡張子のファイルにフィルターを適用するため、フィルター リストを作成
- ファイルの検索
- バックアップ ファイルの名前を指定

注意：製品版 / バンドル版など、仕様によっては一部の機能に制限がある場合があります。制限のある機能に関してはインターフェースに表示されない、もしくはグレースアウトしています。

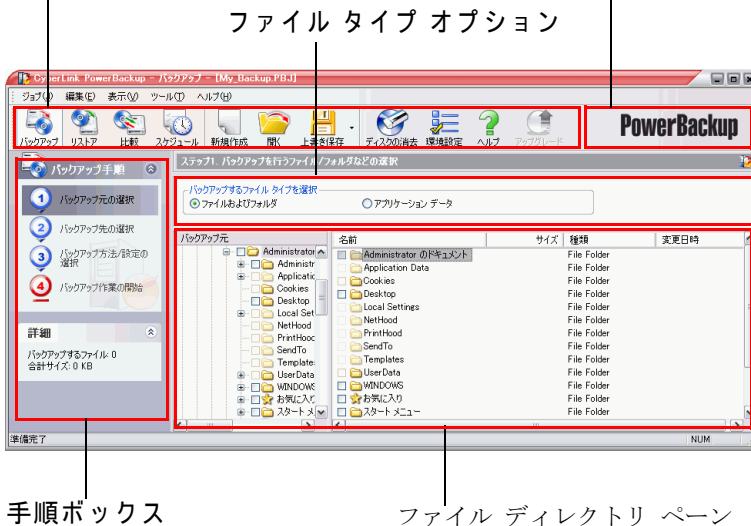
このバージョンの新機能

1. アプリケーション データのバックアップ
 - **Internet Explorer 5.0、5.5、6.0**: お気に入り、cookies
 - **Outlook Express 5.0、5.5、6.0**: 電子メール、アカウント設定、Windows アドレス帳
 - **Outlook 2000、2002 (XP)、2003**: 連絡先、電子メール、アカウント設定
2. 高度なファイル フィルター
 - **除外フィルター**: 選択したファイル タイプ、事前定義済みのファイル タイプ (画像など)、カスタム ファイル タイプをバックアップ プロセスから除外します。
 - **適合フィルター**: 選択したファイル タイプ、事前定義済みのファイル タイプ (画像など)、カスタム ファイル タイプのみをバックアップ プロセスに含めます。
3. リストア ツール
 - 単独の実行可能ファイル (.exe)
 - ポータブルで独立的
 - ファイルを実行して対応するアーカイブを開く
4. Unicode サポート
 - 別の言語の名前のファイルのバックアップ

注意: Windows 98 および ME では、Unicode はサポートされていないため、Windows 2000/XP 上の PowerBackup で作成されたプロジェクト ファイルは、Windows 98 および ME では使用できません。
5. Blu-ray ディスクのサポート
 - Blu-ray 書き込み可能なディスク (Blu-ray ディスク) にデータをバックアップします。

PowerBackup について

次は、PowerBackup を初めて起動したときのレイアウトです。
機能ボタン [バージョン情報] ボタン



レイアウトは、実行する手順によって変わります。ただし、上の機能ボタンや左側の手順ボックスなど、常に使用可能な共通の要素もいくつかあります。これらについて、次の項で説明します。

機能ボタン

各機能ボタンを使用して、多くの PowerBackup 機能にアクセスできます。これらのボタンについて、以下で説明します。

ボタン	機能
 バックアップ	ハード ドライブ上へのデータのバックアップを可能にするバックアップ機能を表示します。詳細は、データのバックアップ on p.20 を参照してください。
 リストア	以前にバックアップされたデータのリストアを可能にするリストア機能を表示します。詳細は、データのリストア on p.28 を参照してください。
 比較	バックアップ データと元のデータとの比較を可能にする比較機能を表示します。詳細は、データの比較 on p.32 を参照してください。
 スケジュール	今後のジョブのスケジュール設定を可能にするスケジュール機能を表示します。詳細は、スケジューラの使用 on p.34 を参照してください。
 新規作成	新規のバックアップ ジョブを作成します。
 開く	既存のバックアップ ジョブを開きます。
 上書き保存	バックアップ ジョブを保存します。(下向き矢印をクリックすると、[名前を付けて保存] オプションが表示されます。)

ボタン	機能
	ファイルを含んだ再書き込み可能ディスクを消去します。詳細は、ディスクの消去 on p.38 を参照してください。
	バックアップ オプションを表示します。詳細は、バックアップ オプション on p.22 を参照してください。
	ヘルプ システムを開きます。
	PowerBackup のコピーをアップグレードします。
	著作権およびバージョン情報を表示します。

注意：すべてのボタンがいずれの手順でも表示されるわけではありません。

手順ボックス

ファイル ディレクトリ ペーンの左側は、バックアップ、リストアおよび比較手順が表示された ボックスが表示されます。



手順内で関係するオプションを表示するには、各ステップをクリックします。右上の矢印をクリックして、手順ボックス全体を表示または非表示にできます。実行している手順に関連する詳細は、手順ボックスの下に表示されます。同様に、右上の矢印をクリックして、これらの詳細を表示または非表示にできます。

バックアップ方法

PowerBackup には、完全、差分および増分の 3 つのバックアップ方法があります。これらのバックアップ方法について、以下で説明します。

- **すべてバックアップする**：選択したフォルダ、およびフォルダ内のファイルをすべてバックアップします。

注意：これら 3 つのバックアップ方法はすべて、データの初回バックアップ時に表示されますが、初回バックアップ時には、[すべてバックアップする] オプションを使用することを強くお勧めします。

- **差分バックアップ**：最後に完全または増分バックアップをしてから追加または変更されたファイルのみをバックアップします。
- **増分バックアップ**：増分バックアップをしてから追加または変更されたファイルのみをバックアップします。

注意：増分バックアップおよび差分バックアップ機能は、PowerBackup の完全店頭パッケージ版にのみ含まれています。

技術情報 差分バックアップと増分バックアップの違いは、バックアップされるファイルのアーカイブ属性の処理方法です。（この属性は、[プロパティ] ダイアログ ボックスの [全般] タブの下のファイル エクスプローラに表示されます。） 差分バックアップ中、PowerBackup は、アーカイブ属性にチェックを付けたままにします。つまり、PowerBackup は、次回このファイルを見つけた場合、再びバックアップを行います。ただし、増分バックアップ中は、PowerBackup は、アーカイブ属性のチェックを外します。つまり、PowerBackup は、次回このファイルを見つけた場合、再びバックアップを行いません。

次の項では、PowerBackup が、4 日間にわたり、異なるバックアップ方法を使用して様々なバックアップ状況进行处理の様子を示す、各種サンプル シナリオについて説明します。

サンプル シナリオ

次の項では、4 日間にわたって、異なるバックアップ方法を使用したサンプル シナリオをいくつか紹介します。シナリオ 1～4 は、完全バックアップから開始するもので、より簡単な例と言えます。シナリオ 5～8 は、差分または増分バックアップから開始するもので、より複雑な例と言えます。（シナリオ 5～6 では、データは、以前に別のジョブまたは異なるバックアップ ソフトウェアを使用してバックアップされています。）

下の表は、1 日目から 4 日目までのファイル A、B および C の状態を示しています。

日	アクション
1 日目	ファイル A、B、C は、ドライブ上に存在します。
2 日目	A が変更されました。
3 日目	B が変更されました。
4 日目	いずれのファイルも変更されませんでした。

シナリオ 1

このシナリオは、1 日目の完全バックアップ後、差分バックアップを使用した結果を示しています。

日	バックアップ方法	バックアップされたファイル
1 日目	完全バックアップ	A、B、C
2 日目	差分バックアップ	A
3 日目	差分バックアップ	A、B

日	バックアップ方法	バックアップされた ファイル
4 日目	差分バックアップ	A、B

シナリオ 2

このシナリオは、1 日目の完全バックアップ後、増分バックアップを使用した結果を示しています。

日	バックアップ方法	バックアップされた ファイル
1 日目	完全バックアップ	A、B、C
2 日目	増分バックアップ	A
3 日目	増分バックアップ	B
4 日目	増分バックアップ	—

シナリオ 3

このシナリオは、1 日目の完全バックアップ後、差分と増分バックアップの両方を使用した結果を示しています。

日	バックアップ方法	バックアップされたファイル
1 日目	完全バックアップ	A、B、C
2 日目	差分バックアップ	A
3 日目	増分バックアップ	A、B
4 日目	増分バックアップ	—

シナリオ 4

このシナリオは、1 日目の完全バックアップ後、差分と増分バックアップの両方を使用した結果を示しています。

日	バックアップ方法	バックアップされたファイル
1 日目	完全バックアップ	A、B、C
2 日目	増分バックアップ	A
3 日目	差分バックアップ	B
4 日目	増分バックアップ	B

シナリオ 5

このシナリオは、前回（0 日目）の A、B、C のバックアップから始め、差分バックアップを使用した結果を示しています。.

日	バックアップ方法	バックアップされた ファイル
1 日目	差分バックアップ	--
2 日目	差分バックアップ	A
3 日目	差分バックアップ	A、B
4 日目	差分バックアップ	A、B

シナリオ 6

このシナリオは、前回（0 日目）の A、B、C のバックアップから始め、増分バックアップを使用した結果を示しています。

日	バックアップ方法	バックアップされたファイル
1 日目	増分バックアップ	--
2 日目	増分バックアップ	A
3 日目	増分バックアップ	B
4 日目	増分バックアップ	--

シナリオ 7

このシナリオは、1 日目でも、差分バックアップを使用した結果を示しています。

注意：初回バックアップが完全バックアップではなくても、1 日目のバックアップ結果は、完全バックアップと同じになります。

日	バックアップ方法	バックアップされたファイル
1 日目	差分バックアップ	A、B、C
2 日目	差分バックアップ	A、B、C
3 日目	差分バックアップ	A、B、C
4 日目	差分バックアップ	A、B、C

シナリオ 8

このシナリオは、1 日目でも、増分バックアップを使用した結果を示しています。

注意：初回バックアップが完全バックアップではなくても、1 日目のバックアップ結果は、完全バックアップと同じになります。

日	バックアップ方法	バックアップされたファイル
1 日目	増分バックアップ	A、B、C
2 日目	増分バックアップ	A
3 日目	増分バックアップ	B
4 日目	増分バックアップ	—

システム条件

次のシステム条件は、PowerBackup を実行するのに最低限推奨されるものです。

最低限のシステム条件

OS	Windows Vista/XP/2K/ME
メモリ	64 MB
CPU 設定	PII-300 以上
HDD 領域	10 MB
書き込み	CyberLink 認定の記録デバイス

PowerBackup のアップデート

現在使用中のバージョンよりも新しいバージョンの PowerBackup が存在する場合、最新の機能を利用するために、この最新バージョンにアップデートできます。

PowerBackup をアップデートするには、**【ヘルプ】**をクリックし、**【アップデート】**を選択します。ご使用の Web ブラウザに CyberLink のホームページが表示され、この中のリンクに従い、ソフトウェアをアップグレードできます。

注意：この機能を使用するには、インターネットに接続する必要があります。

チャプター 2

PowerBackup での作業

この章では、CyberLink PowerBackup を使用して、データのバックアップ、バックアップ ファイルからのデータのリストア、元のバージョンとバックアップされたファイルとの比較を行う方法、および、特定の間隔でバックアップ ジョブを実行するようにスケジュール設定する方法について説明します。また、バックアップされたファイルの検索、再書き込み可能ディスク、およびジョブの実行時に PowerBackup により生成されるレポートの表示方法についても説明します。

この章は、次の各項で構成されています。

- データのバックアップ on p. 20
- データのリストア on p. 28
- データの比較 on p. 32
- スケジューラの使用 on p. 34
- ファイルの検索 on p. 37
- ディスクの消去 on p. 38
- レポートの表示 on p. 39

データのバックアップ

重要なデータの安全なコピーを確実にするため、特定のファイルまたはドライブ全体をバックアップできます。データは、ハード ドライブ、ディスク、リムーバブル メディア（USB ドライブなど）にバックアップできます。バックアップされたファイルを複数のディスクに分けて保存する必要がある場合は、バックアップ メディアのサイズに合うように特定サイズのボリュームにバックアップ ファイルを分割することもできます。

データをバックアップするには、次の操作を実行します。

1. **[バックアップ]** ボタンをクリックするか、または**[表示]>[バックアップ]** コマンドを使用して、バックアップ手順を開きます。デフォルトで、**[バックアップ元の選択]** オプションが表示されます。
2. バックアップするファイル タイプを選択します。
 - **ファイルおよびフォルダ**： データおよびメディア ファイル（フォルダ全体を含む）をバックアップします。
 - **アプリケーション データ**： プログラム（Microsoft Outlook、Outlook Express、Internet Explorer など）により使用されるデータをバックアップします。

注意：[アプリケーション データ] 機能は、PowerBackup 完全店頭パッケージ版にのみ含まれています。

3. 2 つのファイル ディレクトリ ペーンで、バックアップするファイルおよびフォルダ、またはプログラムおよびデータ タイプを選択します。（これらのペーンは、機能面で Windows Explorer と類似しています。）
 - 空のボックスは、フォルダがバックアップ対象として選択されていないことを示しています。
 - 緑色のチェック マークは、フォルダ内のすべてのコンテンツがバックアップ対象として選択されていることを示しています。

- 黄色のチェック マークは、フォルダ内のいくつかのコンテンツのみがバックアップ対象として選択されていることを示しています。
4. **【バックアップ先の選択】**をクリックし、バックアップ先を設定します。
- **バックアップ先**：ドロップダウン ボックスからバックアップ先を選択します。バックアップ先は、使用可能なハードウェアによって決定されますが、ハード ディスクまたはディスクの書き込みドライブも含めることができます。
 - **バックアップファイル名**：各バックアップ ファイルに固有の名前を指定できます。バックアップ ファイルを別のディレクトリに保存するには、**【参照】**をクリックして、使用するフォルダを選択します。
 - **リストア ツールを含む**：バックアップ先のコンピュータに PowerBackup がインストールされていない場合でも、バックアップされたファイルをリストアできます。（このオプションを選択すると、バックアップの完了時に追加の .exe ファイルが作成されます。）
- 注意**：部分的なリストアおよびファイル圧縮機能は、リストア ツールを使用したデータのリストアには使用できません。
- **Split into volumes**：指定したサイズのボリューム（部分）にバックアップ ファイルを分割します。**【自動】**オプションを選択すると、バックアップ先のハード ドライブのファイルシステムのサイズが自動的に検出されます。**【DVD】**オプションを選択すると、バックアップ ファイルを DVD に書き込むことができます。**【CD】**オプションを選択すると、バックアップ ファイルを CD に書き込むことができます。**【BD】**オプションでバックアップ ファイルを Blu-ray ディスクに書き込むことができます。カスタム ボリューム サイズを設定するには、**【サイズのカスタマイズ ...】**をクリックし、サイズ (MB) を入力します。
5. **【バックアップ方法/設定の選択】**をクリックし、使用するバックアップ方法（必要であれば、詳細方法も）を選択します。

- バックアップ方法には、**完全（すべて）**、**差分**および**増分**があります。これらのバックアップ方法についての完全な情報は、バックアップ方法 on p.9 を参照してください。
 - その他のオプションを表示するには、**【環境設定】**をクリックします。詳細は、バックアップ オプション on p.22 を参照してください。
6. **【バックアップ作業の開始】**をクリックします。設定が正しいか確認し、いずれかのボタンをクリックしてバックアップを開始します。
- **【すぐにバックアップする】**をクリックし、すぐにバックアップを開始します。（ジョブとして）あとで同じ設定を使用できるようにするには、バックアップへの変更を保存する際に表示される確認ウィンドウで**【はい】**をクリックします。ファイルの保存後、バックアップがすぐに開始されます。（バックアップ ファイルを保存せずにバックアップをすぐに開始するには、**【いいえ】**をクリックします。）
 - **【スケジュールに追加】**をクリックして、今後のバックアップのスケジュールを設定します。
 - バックアップの完了後、**【レポートの表示】**をクリックして、バックアップ レポートを表示できます。

注意：レポートの詳細については、レポートの表示 on p.39 を参照してください。

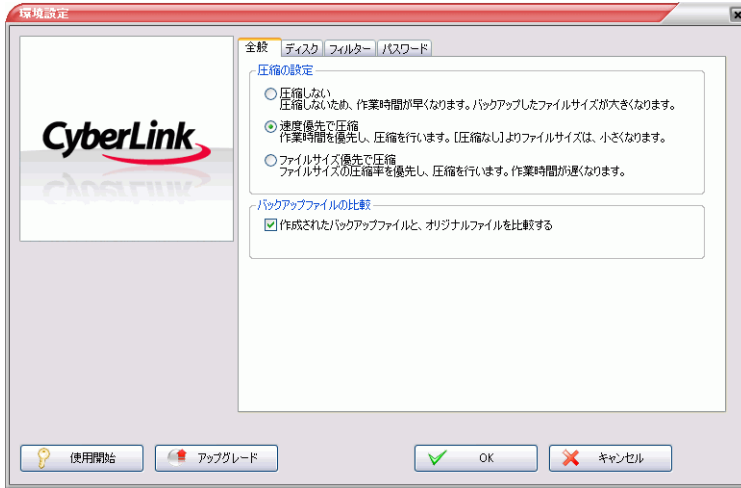
7. **【終了】**をクリックしてメイン ウィンドウに戻ります。

バックアップ オプション

バックアップ手順を開き、 ボタンをクリックし、バックアップ オプションを表示します。4 つのタブのある **【バックアップの設定】** ダイアログ ボックスが開きます。これらのタブ、および各タブのオプションについて、次の項で説明します。

[全般] オプション

PowerBackup の全般バックアップ オプションを表示するには、[全般] タブをクリックします。

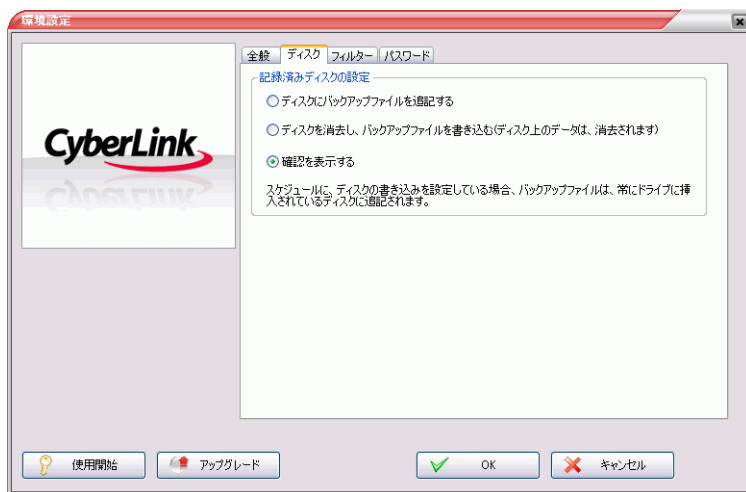


- **圧縮の設定**： 大きなサイズのバックアップ ファイルを短時間で作成する場合は **[圧縮しない]**、バックアップ時間を優先する場合は **[速度優先で圧縮]**、バックアップ プロセス中、より多くの時間を必要とする小さなサイズのバックアップ ファイルを作成する場合は、**[ファイルサイズ優先で圧縮]** を選択します。
- **確認**： バックアップ プロセスの完了後、バックアップされたデータが正確かどうか確認するには、**[作成されたバックアップファイルと、オリジナルファイルを比較する]** オプションをチェックします。

注意： このオプションは、アプリケーション データのバックアップの際には使用できません。

【ディスク】オプション

PowerBackup のディスク オプションを表示するには、**【ディスク】** タブをクリックします。これらのオプションでは、バックアップ先のディスク内にファイルがすでに含まれている場合の処理方法を制御できます。



- ディスクにバックアップファイルを追記する**： 選択したメディア上で、既存のファイルの後にバックアップ データを追記します。

注意：スケジュール設定されたバックアップの場合は、常にディスクに追記されます。

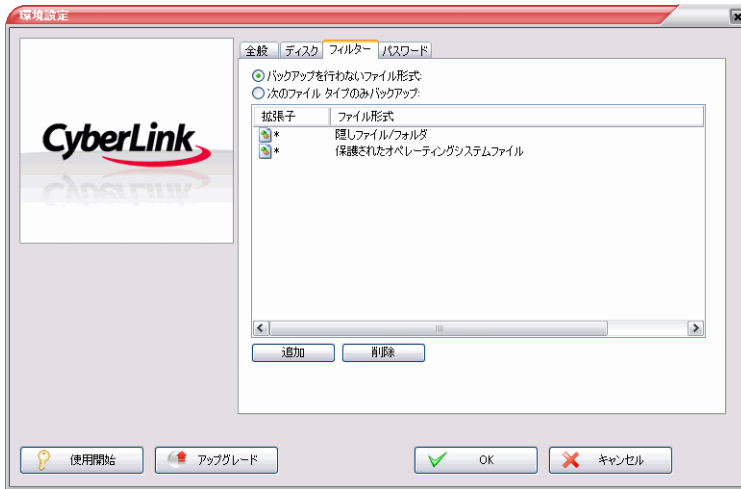
- ディスクを消去し、バックアップファイルを書き込む**： 選択したメディア上の既存のファイルをバックアップ データと置換します。

注意：このオプションは、再書き込み可能ディスクを使用する場合にのみ使用可能です。

- **確認を表示する**：バックアップ データをバックアップ メディアに追加する方法を確認するメッセージが表示されます。

[フィルター] オプション

PowerBackup のフィルター オプションを表示するには、[フィルター] タブをクリックします。



注意：このタブは、アプリケーション データのバックアップの際には使用できません。

指定するタイプのファイルが、後続のバックアップ中にバックアップされないようにするには、[**バックアップを行わないファイル形式**]、指定するタイプのファイルのみをバックアップに含めるには、[**次のファイル タイプのみバックアップ**] をチェックします。

新しいフィルター リストを追加するには、[**追加**] をクリックします。表示されるダイアログ ボックスで、フィルター除外するファイル タイプを選択します。[**登録されているファイル形式**] を選択した場合、除外するファイル タイプを探して選択し、[**OK**] をクリックします。指定したファイル タイプがフィルター リストに追加さ

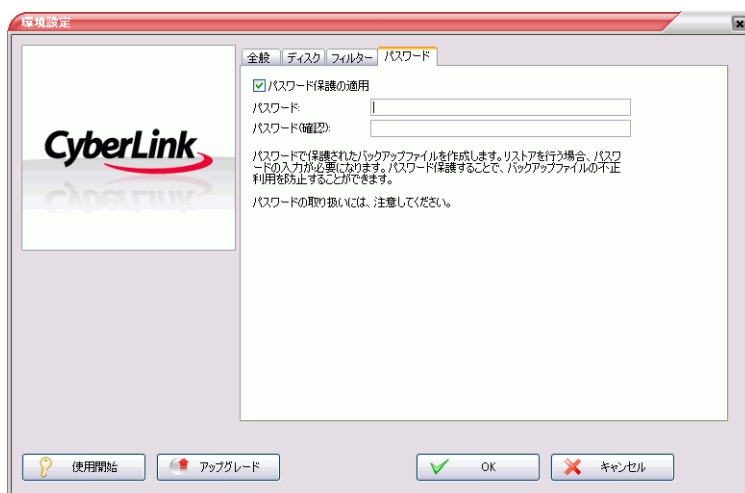
れ、後続のバックアップ中に、バックアップから**除外**されます。**[拡張子の入力]**を選択した場合、ファイル拡張子を入力し、**[OK]**をクリックします。

注意：デフォルトで、非表示のファイルおよびフォルダ、ならびに保護されているオペレーティング システムのファイルは、バックアップから除外されます。

フィルター リストを削除するには、ハイライトし、**[削除]**をクリックします。フィルター リストがすぐに削除されます。

[パスワード] オプション

PowerBackup のパスワード オプションを表示するには、**[パスワード]** タブをクリックします。パスワードを使用して、バックアップしたデータを許可されていないユーザーがリストア（および使用）するのを禁止できます。



パスワード保護機能を使用するには、まず、**[パスワード保護の適用]**を選択した後、パスワードを入力し、確認します。**[OK]**をクリックし、パスワード保護機能を設定します。これで、バックアップさ

れたデータをリストアするときは常にパスワードを入力しなければなりません。

注意：パスワードの機密性を守るよう、十分注意するようにしてください。

データのリストア

バックアップ プロセスの後半は、データを使用可能な状態に戻す（リストア）という作業で構成されています。データのリストア プロセスでは、バックアップ プロセス中に作成されたファイル（バックアップ ファイル）を使用して、バックアップされたすべてのデータを使用可能な特定の場所に戻します。PowerBackup には、データのリストア方法として、プログラムか、リストア ツールのいずれかを使用するという 2 種類の方法が用意されています。これらの方法について、次の項で説明します。

PowerBackup を使用したデータのリストア

バックアップ後、PowerBackup プログラムでデータをリストアするには、次の操作を実行します。

1.  をクリックするか、または **[表示]>[リストア]** コマンドを使用して、リストア手順を開きます。デフォルトで、**[リストア元の選択]** オプションが表示されます。
2. **[リストア元]** ドロップダウン ボックスからリストア元を選択します。
 - **バックアップ ファイル**：既存のバックアップ ファイルからリストアします。バックアップ ファイルを開くには、**[参照]** をクリックし、使用するファイルを探して開きます。
 - **バックアップの履歴**：以前のバックアップ ジョブの既存の記録からリストアします。

注意：バックアップの履歴から記録を削除するには、**[編集]>[バックアップの履歴を削除]** または **[バックアップの履歴をすべて削除]** コマンドを使用します。

- **Disc drive**：ディスクからリストアします。
3. **[リストア先の選択]** をクリックし、リストア先を設定します。

- **オリジナルのファイルパス**：ファイルがバックアップされた元の場所にリストアします。
 - **特定のファイルパス**：新しい場所にリストアします。新しいディレクトリを設定するには、**【参照】**をクリックし、使用するフォルダを探して選択します。
 - **特定のファイルパス（フォルダ構成を保持しない）**：バックアップされたすべてのファイルを単一の新しいディレクトリにリストアします。新しいディレクトリを設定するには、**【参照】**をクリックし、使用するフォルダを探して選択します。
4. **【リストア方法の選択】**をクリックし、使用するリストア方法を選択します。
- **上書きしない**：ハード ドライブ上に見つからないファイルのみをリストアし、既存のファイルを上書きしません。
 - **新しいファイルのみ上書きする**：バックアップされたコピーの方が新しい場合は、ハード ドライブ上の既存のファイルを上書きします。
 - **常にファイルを上書きする**：毎回、バックアップされたコピーでハード ドライブ上の既存のファイルを上書きします。
 - **上書きに関する確認を表示する**：いずれのコピーを保持するかを確認するメッセージが表示されます。
5. 設定が正しいか確認し、**【リストアの開始】**をクリックし、すぐにファイルのリストアを開始します。
- リストアの完了後、**【レポートの表示】**をクリックして、リストア レポートを表示できます。
- 注意**：レポートの詳細については、レポートの表示 on p.39 を参照してください。
6. **【終了】**をクリックしてメイン ウィンドウに戻ります。

リストア ツールを使用したデータのリストア

PowerBackup には、リストア アプリケーションとデータを統合し、結果ファイルを実行可能ファイル (.exe) として保存するリストア ツールが含まれています。これにより、PowerBackup がインストールされていないコンピュータ上のデータをリストアできます。

注意：このオプションを使用するには、バックアップ中、[リストア ツールを含む] オプションが選択されている必要があります。詳細は、データのバックアップ on p.20 を参照してください。

バックアップ後、リストア ツールを使用してデータをリストアするには、次の操作を実行します。

1. バックアップされたファイルを Windows Explorer で探し、その .exe ファイルをダブルクリックします。PowerBackup リストア ツールが起動します。



2. リストア元のファイルおよびリストア先のディレクトリを設定します。
 - ソースファイルを変更するには、[リストア元] の下の [参照] をクリックして別のバックアップファイルを選択します。
 - [リストア先] ドロップダウンボックスから復元先を選択します。**オリジナルのファイルパス：**ファイルがバックアップされた元の場所にリストアします。**特定のファイルパス：**新しい場所にリストアします。**特定のファイルパス (フォルダ構成を保持しない)：**バックアップされたすべてのファイルを単一の新しいディレクトリにリストアします。

- リストア先のディレクトリを変更するには、**【参照】**をクリックし、別のディレクトリを探して選択します。
3. **【リストア】**をクリックします。選択した場所にデータがリストアされます。
 4. データがリストアされたことを伝えるメッセージが表示されたら、**【OK】**をクリックします。

データの比較

バックアップされたファイルを元のバージョンと比較し、必要なデータバージョンがバックアップ ファイルに含まれているかどうか確認できます。

注意：この機能は、アプリケーション データには使用できません。

バックアップされたデータと元のデータを比較するには、次の操作を実行します。

1.  をクリックするか、または **[表示]>[比較]** コマンドを使用して、比較手順を開きます。デフォルトで、**[比較元の選択]** オプションが表示されます。
2. バックアップされたデータの元のデータを **[比較元]** ドロップダウン ボックスから選択します。
 - **バックアップ ファイル：** バックアップ ファイル内のデータを元のデータと比較します。バックアップ ファイルを開くには、**[参照]** をクリックし、使用するファイルを探して開きます。
 - **バックアップの履歴：** 以前のバックアップ ジョブの記録内のデータを元のデータと比較します。

注意：バックアップの履歴から記録を削除するには、**[編集]>[バックアップの履歴を削除]** または **[バックアップの履歴をすべて削除]** コマンドを使用します。

 - **Disc drive：** ディスク上のデータを元のデータと比較します。
3. **[比較先の選択]** をクリックし、比較先のデータの場所を設定します。
 - **オリジナルのファイルパス：** バックアップされたデータを元の場所にあるデータと比較します。
 - **特定のファイルパス：** バックアップされたデータを別の場所のファイルと比較します（たとえば、フォルダを移動した、またはハード ドライブを再構成した場合など）。新しい

ディレクトリを設定するには、**【参照】**をクリックし、使用するフォルダを探して選択します。

4. 設定が正しいか確認し、**【比較の開始】**をクリックし、すぐにファイルの比較を開始します。
 - 比較の完了後、**【レポートの表示】**をクリックして、比較レポートを表示できます。

注意：詳細は、レポートの表示 on p.39 を参照してください。

5. **【終了】**をクリックしてメイン ウィンドウに戻ります。

スケジューラの使用

スケジューラを使用して、今後のバックアップ ジョブのスケジュールを設定できます。ジョブを定期的に行うか、または 1 回のみ実行するか、いずれかを選択できます。スケジュール設定されたバックアップは、作業を停止することなく、バックグラウンドで実行されます。

注意： この機能は、PowerBackup 完全店頭パッケージ版にのみ含まれています。

 をクリックするか、または **[表示] > [スケジュール]** コマンドを使用して、スケジュール手順を開きます。中央の大きなペー
ンに、既存のバックアップ ジョブの一覧が上に、各記録の詳細が下
に表示されます。

スケジュールジョブ	バックアップを行う間隔	最終開始時間	最終終了時間	最終結果
MyBackup4	待機	なし	なし	なし

C:\Documents and Settings\Rebecca_huang\My Documents\MyBackup4.PBJ

バックアップ元:

C:\Documents and Settings\Rebecca_huang\My Documents\My Pictures\...

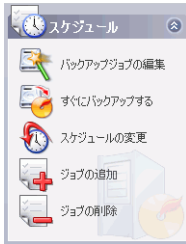
バックアップ先:

C:\Documents and Settings\Rebecca_huang\My Documents\MyBackup4050721.PBF

バックアップの設定:

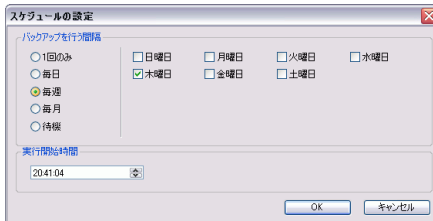
すべてバックアップする、速度優先で圧縮、バックアップファイルの比較、進捗の確認表示、除外リストの使用

左側には、スケジューラから実行されるタスクのリストが表示されます。



スケジューラには、次のタスクが用意されています。

- バックアップ ジョブの編集：** バックアップ元、バックアップ先、バックアップ オプションの変更が可能なバックアップ手順を開きます。（これは、 をクリックした場合、または、[表示] > [バックアップ] コマンドを使用した場合と同じです。）
- すぐにバックアップする：** バックアップ プロセスをすぐに開始します。
- スケジュールの変更：** ジョブ間隔（[一回のみ]、[毎日]、[毎週] または [毎月]）およびバックアップ プロセスの実行日時を選択するのに使用するダイアログボックスが開きます。**[待機]** オプションを選択する場合は、ジョブを中止しても、スケジューラで設定したものはそのまま残ります。



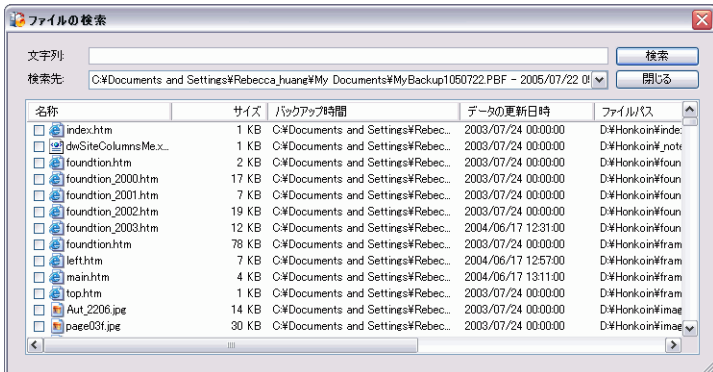
- **ジョブの追加:** スケジューラに追加する既存のバックアップジョブを選択するのに使用するダイアログ ボックスが開きます。
- **ジョブの削除:** 選択したジョブをスケジューラから削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。ジョブを削除する場合は **【はい】**、ジョブを削除せずにメッセージを閉じる場合は **【いいえ】** をクリックします。

ファイルの検索

リストアまたは比較機能の両方で検索を実行し、特定のファイルがバックアップまたはリストアされるように設定できます。ファイルを検索する際、表示されるファイル情報（名前、サイズ、バックアップ時間、変更日および場所）を使用して、別の場所で見つかったファイルの他の既存バージョンと比較できます。

リストアまたは比較機能でファイルを検索するには、次の操作を実行します。

1.  をクリック、または、[表示]> [リストア] コマンドを使用して、リストア プロセスを開くか、あるいは、 をクリックするか、[表示]> [比較] コマンドを使用して、比較プロセスを開きます。
2. フォルダを右クリックし、[ファイルの検索] を選択します。[ファイルの検索] ダイアログ ボックスが開きます。



3. 検索する文字列（1 つ以上の単語、単語の一部またはファイル拡張子）を入力し、ドロップダウン ボックスからディレクトリを選択し、[検索] をクリックします。検索基準と一致するファイルがすべて、このボックス内に表示されます。

ディスクの消去

再書き込み可能ディスク（CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM または Blu-ray フォーマット）を使用している場合、以前に記録されたコンテンツを消去できます。この機能を使用して、新しいディスクを購入することなく、継続して同じディスクを繰り返し、再利用できます。ほとんどのメーカーによると、-RW または +RW フォーマットの再書き込み可能ディスクは、約 1,000 回書き込み可能です。DVD-RAM フォーマットのディスクは、約 100,000 回書き込み可能です。

1. **【ディスクの消去】**をクリックします。**【ディスクの消去】**ダイアログ ボックスが開きます。



2. ディスクを挿入し、書き込みドライブを選択します。
3. 消去方法を選択します。
 - **高速**：ディスク インデックスが消去されますが、物理的にはディスク上のコンテンツは消去されません。
 - **完全**：ディスク上のすべてのコンテンツが消去されます。
4. **【消去】**をクリックします。PowerBackup では、タスクのリアルタイムの進行状況が表示されます。

タスクが完了すると、画面メッセージが表示され、状態を確認できます。**【OK】** をクリックして、メッセージを閉じます。

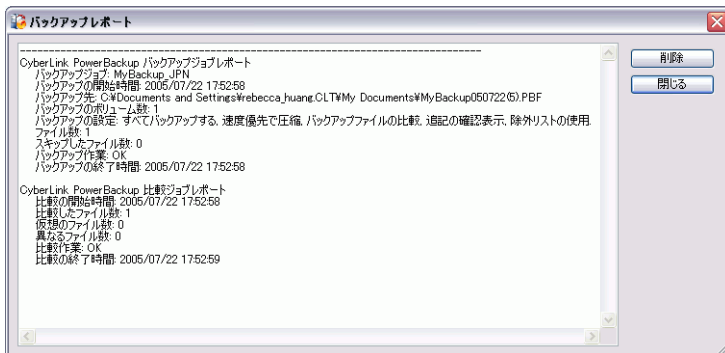
レポートの表示

PowerBackup では、ジョブを実行するたびにレポートが生成されます。これには、3 種類あります。

- バックアップ レポート
- リストア レポート
- 比較レポート

レポートを表示するには、次の操作を実行します。

1. レポートの表示機能を使用して、表示するレポートのタイプを表示します。作成された各タイプの最新レポートが表示されます。
 - [ツール] > [レポートの表示] > [バックアップ レポート] をクリックして、バックアップ レポートを表示します。
 - [ツール] > [レポートの表示] > [リストア レポート] をクリックして、リストア レポートを表示します。
 - [ツール] > [レポートの表示] > [比較レポート] をクリックして、比較レポートを表示します。



2. レポートの確認が完了したら、いずれかのボタンをクリックしてレポートを閉じます。

- **削除**：レポートを削除します。
- **閉じる**：レポートを閉じます。

付録

この章には、テクニカル サポート情報、および CyberLink PowerBackup のさまざまなディスク テクノロジーに関する参考情報が記載されています。

この章は、次の各項で構成されています。

- CD、DVD、および Blu-ray ディスク on p. 42

CD、DVD、および Blu-ray ディスク

CD、DVD、および Blu-ray ディスクは同じようなもので、ほとんど同じようなことをします：データの保存 データ、音楽、ビデオ ファイルを書き込むために使用することができます。但し、CD、DVD、および Blu-ray ディスクは互換性がないので、さまざまな長所および短所が発生します。このため、いずれを使用するかは、各ユーザーのニーズにより決まります。次の 2 つの簡単な質問に答えることで、使用するディスク タイプを選択できます。

- **どのディスク タイプが、使用するディスク バーナーでサポートされているか。**
- **どのディスク タイプが、使用するディスク プレーヤーでサポートされているか。**

これらの質問への回答が、ディスク タイプの選択プロセスの出発点となります。最終的な目的は、書き込んだディスクを再生できるようにすることで、また、もちろん、使用している書き込みディスクで、作成するディスク タイプがサポートされていないからです。

おおまかに言うと、ディスクは、CD（より古い技術で、より広くサポートされていて、700 MB までデータを保存します）、DVD（4.7 ～ 8.5 GB までデータを保存しますが、専用の DVD ドライブが必要です）、および Blu-ray ディスク（データを 25 ～ 50 GB まで保存しますが、特殊なディスク ドライブが必要です）に分けられます。次の項で、CyberLink PowerBackup でサポートされている各種ディスク タイプについて簡単に説明します。

CD タイプ

CD には、高画質ビデオの場合は、74/80 分、データの場合は、650/700 MB まで、それぞれ保存できます。

CD-R

CD-R は、1 回のみ書き込み可能なフォーマットです。CD-RW 書き込みドライブ、およびほとんどの新型 DVD 書き込みドライブで、CD-R の書き込みを行うことができ、また、ほとんどの DVD プレーヤーで、このフォーマットを読み取ることができます。CD-R フォーマットは、コンピュータ データおよびデジタル オーディオの配布に通常使用されています。

CD-RW

CD-RW は、再書き込み可能な CD フォーマットです。CD-RW 書き込みドライブ、およびほとんどの新型 DVD 書き込みドライブで、CD-RW の書き込みを行うことができ、また、ほとんどの DVD プレーヤーで、このフォーマットを読み取ることができます。CD-RW フォーマットは、コンピュータ データおよびデジタル オーディオの保存に最適です。

DVD タイプ

DVD は、8 ～ 18 GB のデータ、または約 2 ～ 8 時間分のビデオの保存が可能な大容量ディスクです (DVD タイプにより異なる)。高画質設定を使用すると、1 ～ 2 時間分のビデオを録画できます。

DVD は、DVD プレーヤー、および DVD ドライブが搭載されているコンピュータで再生できます。DVD-R/RW フォーマットに関する詳細は、www.dvdrhelp.com/dvd などの Web サイトを参照してください。DVD+R/RW フォーマットに関する詳細は、www.dvdrw.com などの Web サイトを参照してください。

DVD-R DVD-R は、1 回のみ書き込み可能な DVD フォーマットです。DVD+R の競合製品で、DVD+R との互換性はありません。新型の DVD 書き込みドライブの中には、DVD-R と DVD+R の両方への書き込み可能なものもあります。また、ほとんどの DVD プレーヤーで両方のフォーマットを再生できます。

DVD-RW DVD-RW は、約 1,000 回、繰り返し書き込みができる DVD フォーマットです。DVD+RW の競合製品で、DVD+RW との互換性はありません。新型の DVD 書き込みドライブの中には、DVD-RW と DVD+RW の両方への書き込みが可能なものもあります。また、ほとんどの DVD プレーヤーで両方のフォーマットを再生できます。

DVD+R DVD+R は、1 回のみ書き込み可能な DVD フォーマットです。DVD-R の競合製品で、DVD-R との互換性はありません。新型の DVD 書き込みドライブの中には、DVD-R と DVD+R の両方への書き込み可能なものもあります。また、ほとんどの DVD プレーヤーで両方のフォーマットを再生できます。

- DVD+RW** DVD+RW は、約 1,000 回、繰り返し書き込みができる再書き込み可能な DVD フォーマットです。DVD-RW の競合製品で、DVD-RW との互換性はありません。新型の DVD 書き込みドライブの中には、DVD-RW と DVD+RW の両方への書き込みが可能なものもあります。また、ほとんどの DVD プレーヤーで両方のフォーマットを再生できます。
- DVD-RAM** DVD-RAM は、約 100,000 回、繰り返し書き込み / 再書き込みができる DVD フォーマットです。DVD-RAM は、大きな技術進歩の結果生まれたため、多くの DVD 書き込みドライブおよびプレーヤーとは互換性はありません。
- DVD-R DL** DVD-R DL は、1 回のみ書き込み可能なデュアル プレーヤー DVD-R ディスクで、シングル レイヤー DVD-R の 2 倍のデータを保存できます。このディスクには、DVD 画質のビデオの場合は 4 時間 (VHS 画質のビデオの場合は 16 時間)、または、8.5 GB のデータを書き込むことができます。また、DVD-R DL ディスクには、すべてのデータがディスクの片面に保存されます。書き込みの際に、ディスクの面を変える必要はありません。
- DVD+R DL** DVD+R DL は、1 回のみ書き込み可能なデュアル プレーヤー DVD+R ディスクで、シングル レイヤー DVD+R の 2 倍のデータを保存できます。このディスクには、DVD 画質のビデオの場合は 4 時間 (VHS 画質のビデオの場合は 16 時間)、または、8.5 GB のデータを書き込むことができます。また、DVD+R DL ディスクには、すべてのデータがディスクの片面に保存されます。書き込みの際に、ディスクの面を変える必要はありません。

Blu-ray ディスクのタイプ

Blu-ray ディスク (BD) は、25 から 50 GB のデータ、または大まかに言って 4 から 8 時間の高解像度ビデオを収容できる次世代の大容量ディスクです。BD は、CD または DVD とは異なる技術を使用して書き込まれますが、その対応するハードウェアに互換性を持たせることができます。

Blu-ray ディスクを、Blu-ray ディスク プレーヤーと Blu-ray ディスク ドライブが装備されているコンピュータで再生することができます。Blu-ray フォーマットに関する詳細は、www.bluraydisc.com または他の Web ソースを参照してください。

Blu-ray ディスク	Blu-ray ディスク (BD) は高解像度ビデオ (HD) を書き込みおよび再生するために、またはデータを保存するために開発されたオプティカル ディスクです。BD は、CD または DVD から異なる技術を使用して書き込まれますが、該当するハードウェアと互換性があるように作成することができます。BD はシングル レイヤ (2 時間 HD/25GB のデータサイズ)、またはデュアル レイヤ (4 時間 HD または 50GB のデータ) どちらかで使用できます。
-------------------------	--

テクニカルサポート

この章には、テクニカルサポートの情報を記載されています。ユーザーが回答を見つけるために役立つすべての情報が含まれています。現地の販売店 / ディーラーにお問い合わせによっても、素早く回答が得られます。

この章には、以下のセクションがあります。

- テクニカルサポートにお問い合わせになる前に ページの「48」
- Web サポート ページの「49」
- 電話サポート ページの「49」
- 電子メールサポート ページの「50」

テクニカルサポートにお問い合わせになる前に

次のいずれかにより、CyberLink の無料テクニカルサポートをご活用ください。

- プログラムと共にインストールされたユーザーガイドまたはオンラインヘルプで調べる。
- CyberLink Web サイトのサポートセクションで FAQ (よく受ける質問) を参照する。

http://www.cyberlink.com/multi/support/product_faq_home.jsp

FAQ にはユーザーガイドやオンラインヘルプよりも新しい情報やヒントが含まれている可能性があります。

テクニカルサポートに電子メールや電話でお問い合わせの場合は、次の情報をご用意ください。

- 登録した **CD キー** (CD ケースに記載)
- 製品名、バージョンとビルド番号。これらは通常、ユーザーインターフェイスの製品名をクリックすると表示されます。
- コンピュータにインストールしている Windows のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス (キャプチャカード、サウンドカード、VGA カード) およびその仕様。
- 表示された警告メッセージの内容 (書き留めるか、スクリーンショットをとります)。
- 問題が発生した状況とその問題の詳細な説明。

Web サポート

問題に対する解決策は、次により CyberLink の Web サイトで 1 日 24 時間、無料で入手できます。

注： CyberLink Web サポートをご使用になるには、初めにメンバーとして登録する必要があります。

CyberLink は、次の言語による FAQ やユーザーコミュニティーフォーラムなど豊富な Web サポートオプションを提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	http://support.gocyberlink.com
繁体字中国語	http://tw.cyberlink.com/chinese/cs/support/index.jsp
簡体字中国語	http://cn.cyberlink.com/chinese/cs/support/index.jsp
日本語	http://jp.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/support_index_jpn.jsp

注： ドイツ語のコミュニティーフォーラムとその他いくつかの制限された Web サポート機能もご利用いただけます。

電話サポート

エンドユーザーに最高の解決策を提供する有料サービスの一環として次の言語での**音声サポート**をご利用になれます。

言語	音声サポート URL
中国語	http://tw.cyberlink.com/chinese/cs/support/voice_support.jsp
英語	http://www.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/voice_support.jsp

言語	音声サポート URL
フランス語、 ドイツ語、 イタリア語、 スペイン語	http://de.cyberlink.com/multi/program/page/_page_display.jsp?seqno=173
日本語	http://jp.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/support_index_jpn.jsp

電子メールサポート

電子メールサポートでは、技術質問用紙を使用してさまざまな言語でご利用いただけます。

特定言語の連絡情報に関しては次の一覧を参照してください。

言語	Web サポート URL
繁体字中国語	http://tw.cyberlink.com/english/cs/support/form/index.jsp
英語	http://www.cyberlink.com/english/cs/support/form/index.jsp
フランス語、 ドイツ語、 イタリア語、 スペイン語	goCyberlink@aixtema.de

索引

C

CD

タイプ 43
または DVD 42

D

DVD

タイプ 44
または CD 42
[DVD] オプション 21

P

PowerBackup のアップデート 17

S

Split into volumes 21

あ

アーカイブ属性 9

[圧縮しない] オプション 23
アプリケーション データ 20

う

[上書き] オプション 24
[上書きに関する確認を表示する] オプション 29

お

主な機能 2
[オリジナルのファイルパス] オプション 29, 30, 32

か

空のチェック ボックス 20
[環境設定] ボタン 7
完全 38

き

黄色のチェック マーク 21

機能ボタン 5, 6

こ

高速 38

さ

再書き込み可能ディスク, 消去 38
[サイズのカスタマイズ ...] オプション
21
差分をバックアップする 9

し

システム条件 16
[自動] オプション 21
詳細ボックス 8
[ジョブの削除] オプション 36
[ジョブの追加] オプション 36
[新規作成] ボタン 6

す

すぐにバックアップする 35
スケジューラ 34
スケジューラの使用 34
スケジュールの変更 35
[スケジュール] ボタン 6
すべてバックアップする 9

せ

全般バックアップ オプション 23

そ

増分をバックアップする 9
[速度優先で圧縮] オプション 23

た

[待機] オプション 35

つ

[追記] オプション 24
[追記の確認表示] オプション 25

て

ディスク, 消去 38
[ディスク] オプション 24
ディスクの消去 38
[ディスクの消去] ボタン 7
データのバックアップ方法 9
手順ボックス 5, 7

と

[特定のファイルパス (フォルダ構成を
保持しない)] オプション 29, 30
[特定のファイルパス] オプション 29,
30, 32

は

[バージョン情報] ボタン 5, 7
[パスワード] オプション 26
バックアップ
オプション 22

レポート 39

手順 20

方法 9

バックアップ ジョブの編集 35

バックアップ ファイル, 保存 22

バックアップ ファイルの保存 22

バックアップの履歴 28, 32

バックアップの履歴を削除 28

バックアップの履歴をすべて削除 28

[バックアップ] ボタン 6

ひ

比較

手順 32

レポート 39

[比較] ボタン 6

[開く] ボタン 6

ふ

ファイル ディレクトリ ペーン 5, 20

ファイルおよびフォルダ 20

[ファイルサイズ優先で圧縮] オプション 23

ファイルの検索 37

ファイルのサーチ 37

[フィルター] オプション 25

フィルター リストからファイル タイプ
を削除 26

フィルター リストにファイル タイプを
追加 25

へ

[ヘルプ] ボタン 7

ほ

[保存] ボタン 6

ボタン 6

み

緑色のチェック マーク 20

り

リストア

レポート 39

手順 28

リストア ツール 30

[リストア] ボタン 6

れ

レポート, 表示 39

レポートの表示 39

c 21

